

〔御湯殿の上の日記〕慶長八年十二月九日、大御ちの人より、御としわすれにて、御参る、みやの御かたはじめのこらす御所々々ならします、御さか月一こん参りて、御したかわらけ、大御ちの人御いたゞきあり、御ひしくにて、めでたしく、

〔關八州古戦録九〕太田三樂齋乘捕小田城事

常州ノ小田讚岐入道天庵、其家ノ吉例トシテ、毎年臘月晦日ノ夜、群臣ヲ集テ連歌ノ會ヲ促シ、百韻興行シテ、是ヲ年忘レト號シ、酒宴曉天ニ至ルヲ定式トス、

〔日次紀事十二月〕此月市中供神佛之器皿、同神折敷臺、并片木袴、肩衣、頭巾、綿帽子、裙帶、扇子、踏皮同、襪線、雪踏、草履、寒臙脂皿、櫛、髻結紙、及常器、椀、木皿、塗折敷飯櫃、太箸、茶碗、鉢皿、真那板、膳組、若水桶柄、杓、加伊計、浴桶、盥盤、并毬、及毬杖、部里々々、羽古義板、其外鱒魚、鯛魚、鱈魚、章魚、海蝦、煎海鼠、串石、決明、數子、田作類、蜜柑、柑子、橙、柚、榲、搗栗、串柿、海藻、野老、梅干、山椒粉、胡椒糊、牛房、大根、昆布、熨斗、諸般物悉賣之、是皆來年春初所用也。○中又賣齒朶、由津里葉、并薪炭等、幡枝、并深草、土民盛土器、於籠壹雙、擔之賣市中、其大者稱三度、或五度、其小者謂小重、又稱臍土器、室町總門辻、四條新町、小結棚、爲市、而賣節物、

〔日本靈異記下〕獨體目穴、筭揭脫以祈之、示靈表、緣第廿七

白壁天皇仁○光世、寶龜九年戊午冬十二月下旬、備後國鞆田郡大山里、人品知牧人爲買正月物、向

同國深津郡於深津市、

〔改正月令博物筌十二月〕年の市正月の儀式に用ゆる物を賣る市をいふ、毬打賣、ぶり、賣、ほこ、飾松賣、かざり、藥賣、神の皿賣いた賣、神の折敷賣、かや、かちぐり賣、標賣、した賣、穗長賣、葉竹、うり、

〔清嘉錄十二〕年市、年夜已來、市肆販置、南北雜貨、備居民歲晚、人事之需、俗稱六十日頭店、熟食鋪、豚蹄雞鴨、較常貨買、有加紙馬、香燭鋪、預印路頭、財馬紙糊、元寶、緞疋、多澆、巨蠟、束名香、街坊吟賣、箒